

001 OUT RUN  
[MAGICAL SOUND SHOWER / RHYTHM RETAKE REMIX 1]  
From "OUT RUN / SEGA / S.S.T.BAND"

002 OUT RUN  
[SPLASH WAVE]  
From "OUT RUN / SEGA / S.S.T.BAND"

003 SPACE HARRIER  
[SPACE HARRIER ARRANGE VERSION]  
From "GALAXY FORCE -G.S.M. SEGA 1-"

004 GALAXY FORCE  
[BEYOND THE GALAXY]  
From "GALAXY FORCE -G.S.M. SEGA 1-"

005 GALAXY FORCE  
[DEFEAT]  
From "GALAXY FORCE -G.S.M. SEGA 1-"

006 POWER DRIFT  
[LIKE THE WIND ARRANGE VERSION]  
From "POWER DRIFT & MEGA DRIVE -G.S.M. SEGA 2-"

007 SUPER MONACO GP  
[THEME FROM SUPER MONACO GP]  
From "SUPER SONIC TEAM -G.S.M. SEGA 3-"

008 TURBO OUT RUN  
[RUSH A DIFFICULTY (TURBO OUT RUN ARRANGE VERSION)]  
From "SUPER SONIC TEAM -G.S.M. SEGA 3-"

009 G.L.O.C.  
[AIR BATTLE]  
From "HYPER DRIVE -G.S.M. SEGA 4-"

010 SUPER HANG ON  
[SPRINTER]  
From "HYPER DRIVE -G.S.M. SEGA 4-"

011 RAD MOBILE  
[Soup Up]  
From "FORMULA -G.S.M. SEGA 5-"

012 FANTASY ZONE  
[OPA-OPA!]  
From "MEGA SELECTION -G.S.M. SEGA 5-"

013 AFTER BURNER  
[FINAL TAKE OFF ARRANGE VERSION]  
From "SUPER SONIC TEAM -G.S.M. SEGA 3-"

014 AFTER BURNER  
[AFTER BURNER (VERSION II)]  
From "AFTER BURNER"

015 STRIKE FIGHTER  
[BORN OUT]  
From "STRIKE FIGHTER"

016 TACHYON  
[BLIND SPOT]  
From "BLIND SPOT"

SCDC-00312

©Scitron Digital Contents Inc.  
©PONY CANYON INC.  
©SEGA CORPORATION



GAME SOUND LEGEND ARRANGE SERIES  
**BACK IN THE S.S.T.BAND!!**  
~THE VERY BEST~



# GAME SOUND LEGEND ARRANGE SERIES BACK IN THE S.S.T. BAND!! ~THE VERY BEST~

- 001 OUT RUN  
[MAGICAL SOUND SHOWER (RHYTHM RETAKE REMIX)]  
From "OUT RUN / SEGA / S.S.T.BAND"
- 002 OUT RUN  
[SPLASH WAVE]  
From "OUT RUN / SEGA / S.S.T.BAND"
- 003 SPACE HARRIER  
[SPACE HARRIER ARRANGE VERSION]  
From "GALAXY FORCE -G.S.M. SEGA 1-"
- 004 GALAXY FORCE  
[BEYOND THE GALAXY]  
From "GALAXY FORCE -G.S.M. SEGA 1-"
- 005 GALAXY FORCE  
[DEFEAT]  
From "GALAXY FORCE -G.S.M. SEGA 1-"
- 006 POWER DRIFT  
[LIKE THE WIND ARRANGE VERSION]  
From "POWER DRIFT & MEGA DRIVE -G.S.M. SEGA 2-"
- 007 SUPER MONACO GP  
[THEME FROM SUPER MONACO GP]  
From "SUPER SONIC TEAM -G.S.M. SEGA 3-"
- 008 TURBO OUT RUN  
[RUSH A DIFFICULTY (TURBO OUT RUN ARRANGE VERSION)]  
From "SUPER SONIC TEAM -G.S.M. SEGA 3-"
- 009 G.L.O.C.  
[AIR BATTLE]  
From "HYPER DRIVE -G.S.M. SEGA 4-"
- 010 SUPER HANG ON  
[SPRINTER]  
From "HYPER DRIVE -G.S.M. SEGA 4-"
- 011 RAD MOBILE  
[Soup Up]  
From "FORMULA -G.S.M. SEGA 5-"
- 012 FANTASY ZONE  
[OPA-OPA!]  
From "MEGA SELECTION -G.S.M. SEGA 6-"
- 013 AFTER BURNER  
[FINAL TAKE OFF ARRANGE VERSION]  
From "SUPER SONIC TEAM -G.S.M. SEGA 3-"
- 014 AFTER BURNER  
[AFTER BURNER (VERSION II)]  
From "AFTER BURNER"
- 015 STRIKE FIGHTER  
[BORN OUT]  
From "STRIKE FIGHTER"
- 016 [TACHYON]  
From "BLIND SPOT"

## ~伝説のメンバー、再び~ S.S.T.バンド プレミアムトークセッション

BACK IN THE S.S.T. BAND!! ~THE VERY BEST~

——まずS.S.T.バンド結成のきっかけを教えてください。

並木：古過ぎて思い出せない部分もありますが……。ゲーム音楽をアレンジして出しようというお話が、当時のアルファレコードからありました。僕がセガに入社して、宣伝部の人が「ギターを弾けるヤツが入ったんだってね。レコーディングしてみない？」って話していたんです。そこでレコーディングのマニピュレーターだった松前氏と知り合ったのが最初です。そうじゃなかったかなあ。

松前：その前の話はいいの？ 林君がいた時のライブ。

並木：そうだ。まだS.S.T.なんて名前が無いころに、池袋サンシャイン60の噴水広場で、セガの社員だけでバンド形式のライブをやったのが最初ですかね。悲惨なライブだったね(笑)。途中でパソコンが止まってしまってパニックでした。オチは宮内がMIDIケーブルをつなげ間違えていた(笑)。でも、このライブはまだS.S.T.バンドの活動にそれほどつながってはいないんじゃないかと思うんですけどね。

林：でもね、あの時宣伝部の偉い人から「林君、これから有名にしてやるからな」って肩をたたかれた覚えがあるよ。それからすぐに俺は会社辞めてんやけど。

(一同爆笑)

田辺：それからメガドライブの発売イベントだったっけ？

松前：そうだね。東名阪でライブをやろうって話になって、残りのパートのメンバーを回りの友達から探していたんです。それがサンダーさんとバーナーさんとギャラクシーさんだったわけですね。

——サイトロンでの第一作「ギャラクシーフォース」が'89年ですから、これが本格的な活動開始だったわけですか？

並木：実際にはまだバンドではなかったですよ。レコーディングの時にいたのは松前・並木の二人だけです。

林：僕らの曲を松前さんに渡し、打ち込んでもらうっていうスタイルですね。

松前：打ち込みにセガの人が楽器を弾いて乗せよう、っていうのが始まりですから。2枚目の「パワードリフト&メガドライブ」を出してから、ステージイベントに出たんです。それから「このメンバーでレコーディングしない？」っていう話になりました。とはいえ、レコーディングやライブがあるときに集まるっていう形でしたから、常にメンバーがそろって活動するというものではなかったんですけど。

熊丸：(当時のS.S.T.バンドの記事をスクラップしたファイルを見ながら)「八十歳になってもやるぞ!」だって(笑)。

斎藤：死んでるよ、もう(笑)。

——最初のころはサングラス姿で素顔を明かさない、ミステリアスなバンドでしたね。

並木：果たしてそれでどれほど効果があったか分かりませんが(笑)。当時、開発者がマスコミに出るのはタブーっていうのがあったから、演出っぽく素顔を隠していたんですね。

松前：衣装も銀ギラのロボットみたいな格好があったりしましたね。ちゃんとスタイリストさんが付いていたんですけど、そのころの方が変な格好をしてました(笑)。

### トークセッション出席メンバー

松前 公高：HARRIER (Key)/'88~'93  
並木 晃一：MICKY (Guitar)/'88~'93  
飯島 丈治：GALAXY (Guitar)/'88~'93  
斎藤 昌人：TURBO君 (Bass)/'90~'93  
田辺 健彦：THUNDER (Drums)/'88~'90  
熊丸 久徳：SPLASHくま (Drums)/'91~'93  
林 克洋：Funky K.H (Key)

### +S.S.T.バンドメンバー

宮内 博史：HIRO (Key)/'88~'90  
光吉 猛修：R三郎丸 (Key)/'91~'93  
小森 伸吾：BURNER (Bass)/'88~'89

——— 当時はどんな人たちが聴いているのか、意識していましたか？

並木：自分たちのことでいっぱいだったね。実は皆さん、極めて普通の「音楽」としてみてくれたようですけど。

松前：若い人はごく自然に聞いてくれていたようですね。ゲームということで、むしろ我々の方が変な意識を持ち過ぎていたのかもしれないです。'90年以降はスポーツフェアに出演したりレコーディングしたりした後、ゲームミュージックフェスティバルに出ることになりました。どんどん活動が盛んできて、楽曲も高度になってきました。特にベースでチョッパーができる人が欲しいね、となったんだよね？

斉藤：僕にはそんな話はなかったんですけどね(笑)。ロボットみたいな格好をして演奏するっていう企画があるんだけどって聞かされていて、デパートの屋上の着ぐるみショーみたいなイメージでそれに興味があったから。

(一同爆笑)

熊丸：お前は形から入ったんだ(笑)。

斉藤：原曲を送ってもらって聞いたら、すごくしっかりした音楽だと思いましたよ。もっとピコピコしたものだと思ってたのに。でも、ロボットみたいな格好ができなかったのが残念でしたけど(笑)。

並木：(笑)。

松前：ライブの前に「ハイパードライブ」のレコーディングに参加してもらって、前任のBURNERさんが仕事の都合で続けられなくなったから、スラップベースができるTURBO君に参加してもらったというわけですね。で、ゲームミュージックフェスティバルでは新人のくせにベースソロをやっちゃって……。



▲並木「MICKY」晃一さん

斉藤：「くせに」って(笑)。

並木：一人で持ってっちゃって、一躍脚光を浴びたわけですね(笑)。

斉藤：それで解散しました。

並木：はやっ(笑)。

松前：それからお客さんも増えてきたから、TAKE OFF 7っていう所でS.S.T.バンドのプライベートライブを開くことになったんです。そのころから僕らも自我が芽生えたっていうか(笑)。

並木：若かったからね(笑)。

松前：で、僕らがやりたいことをライブハウスでやってみようってことでね。



▲松前「HARRIER」公基さん

並木：S.S.T.の略し方をちょっと変えて、「セガ・サウンド・チーム」じゃなく「吸って吸ってチュウ」にしたんだっけ(笑)。で、ライブ前日のリハーサル前に田辺さんが倒れたんです。

田辺：肺の病気でね。

並木：それでTURBO君の知り合いにドラマーがいるってことで、熊ちゃんを呼んだわけです。

熊丸：いよいよ登場していいのね。どうも、スプラッシュ熊丸です。あの時は2〜3時間のリハだけで本番でしたからね。

飯島：そんなにやってないよ。リハの45分だけたいて、2時間ステージ(笑)。

熊丸：え、そうだった？ で、大将(松前氏)に曲について「ここどうしましょうか〜？」って聞いたら「勘でやって〜」って言われましたね(笑)。それがきっかけで、僕は臨時なんだろうと思っていたんですけど、田辺さんが療養に専念するというので、二代目ドラマーをやらせていただきました。

松前：プライベートライブはコピー曲メインの選曲だったからどうにかなったんでしょうけど、さすがにS.S.T.オリジナル曲だったら無理だったでしょうね。で、その1週間後アルバムに合わせたライブが中野サンプラザで開かれるので、そこでも参加してもらいました。

飯島：「フォーミュラ」のころだね。

松前：それからライブを重ねて、レコーディングを重ねて、自我がもっと芽生えちゃったと(笑)。そのころF-1ブームがあったんですよ。それでフジテレビの番組で曲を使ってもらえるということになったんです。そうするとゲームの曲は使えないし、ゲームと離れたことをやってみたかったというのもあって、オリジナルを作ることになりました。そういう時期に出来たのが「BLIND SPOT」ですね。

並木：このあたりから会社で私への風当たりが(笑)。

松前：「BLIND SPOT」発売と同時にバブルも崩壊(笑)。

並木：神戸でコナミレーベル設立5周年記念ライブ、それからゲームミュージックライブ'93。この日本青年館で解散を発表したんだね。

松前：こうして見ると短いね。

並木：うん。濃かったからね。

松前：解散の理由は「音楽的指向の違い」？(笑)。

並木：もともと違うっつんだ(笑)。だれも同じじゃない。

熊丸：底辺の部分では似ているんじゃないですか？

並木：音楽で飯を食っている人間ばかりだから、「このジャンルは絶対受け付けない」ってことはないんですよ。意識したことも無い。解散の理由っていうのは、いろんなことが重なっているんですよ。メンバーそれぞれの中で盛り上がり過ぎちゃった部分、逆に盛り下がった部分、セガのレコード販売会社の意向とか、いろいろね。解散が一番スマートな道だったんです。



▲飯島「GALAXY」太治さん



▲斉藤「TURBO君」昌人さん

——— ここで、本日参加できなかったヒロさんと光吉さんからのメッセージをお読みします。

ヒロ：ども、ヒロです。皆さんお久しぶりです。懐かしのS.S.T.メンバーが揃うということで参加したかったんだけど、現在仕事の方が大変なことになっていて、今日は残念ながら行けません。禁断の秘話とか、絶対メディアに出せないトークとかが炸裂すると思うと楽しみです。現在、ヒットメーカーサウンドチームで結成しているバンド「H(エイチ)」では懐かしのナンバーも演奏しているので、機会があったら見てね。じゃ！

光吉：座談会へお集まりの皆さま、お久しぶりでございます。ヒットメーカーの光吉です。今回はスケジュールの都合がつかず参加することができませんでしたが、私の若気の至りの数々、どうぞ遠慮無くお話しくさいますよう、よろしくお願い致します。皆さまの今後のご活躍とご発展をお祈りしております。

並木：話していいんだ(笑)。

斉藤：久しぶりに会いたかったけど。

並木：宮内とは高校生時代のバンドから一緒だったんですよ。あいつはMIDIケーブルの一件で話したように、電気系が強そうに見えて案外ダメなんですね。光吉はステージドリンクがみそ汁だったことを覚えてます。

斉藤：マジで！

並木：そう。熱々で具も入ったやつ(笑)。当時、光吉は我々のおもちゃにされてたから、それが嫌で来なかったのかな(笑)。

飯島：レコーディング中に電源落したりね。

(そのほか、数々のエピソードを披露していただきましたが、また次の機会に……)

——— 解散の話が最初に来た時のことって覚えていますか？

熊丸：僕は今知ったんだけど……。

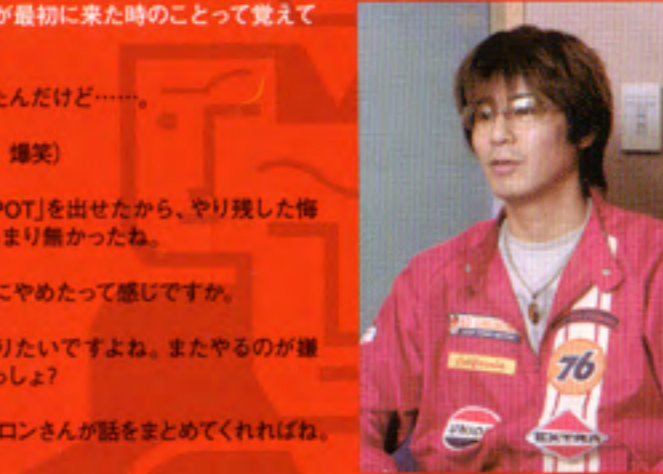
(一瞬の静寂の後、爆笑)

松前：「BLIND SPOT」を出せたから、やり残した悔しさっていうのはあまり無かったね。

並木：一番いい時にやめたって感じですか。

熊丸：でもまたやりたいですよ。またやるのが嫌な人なんていないっしょ？

並木：セガとサイトロンさんが話をまとめてくれればね。



▲熊丸「SPLASHくま」久徳さん

——— 今回収録される楽曲で、特に印象的なものがありますか？

松前：最初のころはアレンジバージョンにちょっと比重を置こう、という程度のもので、全くバンドスタイルを意識したものではありませんね。3枚目の「スーパースニックチーム」は野呂さんや他の方のアレンジの曲も入っていたけど、2曲ほどバンドでレコーディングしました。丈治(飯島氏)が初めてレコーディングしたのもこのあたりか。ここからバンド化していくようになります。

——— 次の「ハイパードライブ」で大きく状況が変わったわけですね。

松前：変わりましたね。TURBO君という聞かせられるベースを弾けるメンバーが入ったのも大きい。「これなら自信を持ってバンドといえる」という形になりました。ライブを想定したアレンジで、「G-L.O.C.」「TURBO OUT RUN」などはバンド形式でレコーディングし始めた頃のもので。

斉藤：この時期に伊豆で合宿しました。俺の場合、メンバーとの交流が一気に深まった時期ですね。

並木：酒飲んだからね(笑)。

——— 今後、もしS.S.T.バンドが再結成することがあるとしたら、やってみたいことはありますか？

熊丸：てゆーか再結成しましょうよ、もう。一日だけの再結成とかならありでしょ？

松前：じゃあここで言っちゃえばいいんだよね。もし今回のCDが好評で、その後今までのS.S.T.バンド作品が全作再発売されることになったら、それを記念して再結成ライブをやるっていうことにしましょう。

並木：サイトロンさんの責任で(笑)。

松前：ただしそのころはメンバーが何人が死んでるので。

(一同爆笑)

熊丸：「八十歳になってもやるぞ！」なんだし。

並木：昔の曲も半分は弾けない。指が動かない。

松前：テンボもみんな半分で(笑)。

並木：とにかく、今回のCDが好評だったら再結成もあり得ると思います。皆さん、ぜひ聞いてみてください。よろしくお願いします。

2003年10月7日  
サイトロン・スタジオサウンドシップにて  
Text & Photo by アルカディア編集部



▲田辺「THUNDER」健彦さん



▲林「Funky K.H」克洋さん

Produced by  
八木 "T.J!" 貴弘 (Scitron Digital Contents Inc.)

Composed & Arranged by  
S.S.T. BAND

Mastering Engineer  
中山 譲 (Scitron Digital Contents Inc.)

Design Producer  
小田 能知 (Scitron Digital Contents Inc.)

Designed by  
藤本 "ANI" 健太郎 (Nendo)

Promoted by  
高橋 克典 (Scitron Digital Contents Inc.)  
外崎 剛 (Scitron Digital Contents Inc.)  
関 美奈子 (Scitron Digital Contents Inc.)

Release Operated by  
二田 祐樹 (Scitron Digital Contents Inc.)

BIG THANKS to  
伊藤 良弘 (SEGA CORPORATION)  
折原 和弘 (PONY CANYON INC.)  
梅田 浩二 (ゲーム情報総合誌ドリマガ)  
高橋 誠 (月刊アルカディア)  
S.S.T. BAND BACK-UP TEAM  
baddy

Executive Producer  
大野 善寛 (Scitron Digital Contents Inc.)

サイトロンウェブシティ: <http://www.webcity.jp/>  
ヒットメーカーホームページ: <http://www.hitmaker.co.jp/>  
セガ公式サイト: <http://sega.jp/>  
セガモバ: <http://segamoba.jp/>

©Scitron Digital Contents Inc.  
©PONY CANYON INC.  
©SEGA CORPORATION

## セガモバ

セガモバとは、携帯電話(i-mode, Vodafone live!, EZweb)を利用した、入会費・年会費無料のセガ・アミューズメント施設の会員システムだ!!

会員証は携帯電話の画面に表示される君だけのバーコード! 全国のセガモバ導入店に設置してあるセガモバ端末「モバナビ」でポイントを貯めて嬉しいサービスをGetしよう!

S.S.T. BANDロゴ待受けがダウンロードできる携帯セガモバ会員サイトにアクセス!

### ■i-modeをご利用の方

iMenu → メニューリスト → ゲーム → ゲーム2 → ゲーム総合 → セガ・モード → セガモバ

### ■Vodafone live! をご利用の方

ボーダフォンライブ! → ウェブ → ボーダフォンウェブ → メニューリスト → ケータイゲーム → メーカー別リンク → セガ・パレード → セガモバ

### ■EZweb をご利用の方

<http://segamoba.jp> へアクセス!

会員TOPより[ポイント照会・交換]を選択

↓  
[デジタルコンテンツ]を選択

↓  
開発スタジオ「セガ」を選択

↓  
「SOUND」を選択

↓  
「S.S.T. BANDロゴ(初期)」又は「S.S.T. BANDロゴ(後期)」を選択・決定

↓  
待受け用のURLが添付されたメールが携帯に届きます。

↓  
URLをクリックすると待受けが表示されますので画像を保存してご使用下さい。

